

こんにちは赤ちゃん事業

岡山市に住民登録された生後4ヶ月までの赤ちゃんを、地域の愛育委員が検本を持って訪問し、子育てを支援する事業です。



9万人目の赤ちゃん誕生!

平成20年12月から始まったこの事業が令和5年7月に9万人目を迎えました。9万人目の赤ちゃんは、南区妹尾の赤ちゃんです。機嫌のいいとともかわいい赤ちゃんに出会うことができました。1人目のお子さんの時とは違う絵本でもとても喜んでもらえ、和やかに2人の子育ての様子などお話をできました。

愛育活動の中で、子育ての不安を話されるお母さんにも出会います。私たち愛育委員や保健師さんの存在を知っていただき、少しでも安心して子育てができるよう地域で見守っていきたいと思います。

愛探訪 Part II

市内98学区・地区それぞれの愛育活動をシリーズで紹介しています。

岡南学区

「元氣ハツラツ長生き岡輝21」ウォーキング大会の下見をしました。コースは岡輝公民館を出発し、興田公園・下中野の遊歩道・新保へ続く高架構を渡り、終点は岡山臨港鉄道岡南新保駅跡です。約2時間、天候もよく気持ちもよよく楽しく歩き、高架構から見ると山々の美しさに驚きました。今年の開催は11月24日(金)です。若男女問わず大勢に参加いただき、交流を深めながら歩きたいと思っています。



98学区地区 会長研修会

大腸がん検診について一緒に考えてみましょう

がんの死亡数は増加しており、部位別で見ると大腸がん死亡は男性で2位、女性で1位を占めています。身近な問題として、改めて早期発見の重要性を学びました。

大腸がんの症状は?

早期は無症状のことが多く、進行すると、肝臓・肺・リンパ節などへの転移や他臓器への浸潤をきたします。

10年生存率はステージ1では80.4%と高い	大腸がん(予後)	80.4%
リンパ節転移あり	ステージ2	69.2%
遠隔転移あり	ステージ3	60.9%
	ステージ4	11.2%

出典:国立がん研究センター「国内がん登録 2010年10年生存率集計」
https://ganjoho.jp/public/ga_links/report/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_10_2010.pdf

治療方針

早期ステージ(ステージ1まで).....内視鏡治療
それ以上のステージ.....外科治療(手術)
化学療法(抗がん剤治療)

大腸がん検診の流れ

検診
便潜血検査
便を2日分とって、便の中に血液が強じっていないか確認
2日のうち1日でも血液が混じっていたら...
陽性 → 精密検査 → 異常あり → 治療
陰性 → 1年後の検診 便潜血検査
異常なし

早期発見のためぜひ検診を受けましょう!

出典:大腸がんのことがよくわかる大腸がん情報サイト <https://www.daiobogianfo/discover/examination.html>



頼藤 貴志先生
岡山大学大学院 歯学部総合研究科 疫学・衛生学分野

大腸がん検診について

大腸がん検診(便潜血検査)を受けることで大腸がんによる死亡を約70%減少させるとの研究データもあります。

出典:国立がん研究センター「多自然コホート研究(JPHC Study)大腸がん検診受診と大腸がん死亡率との関係」
https://epi.ncc.go.jp/jpc/epicome/237.html

おやこ子どもまつり in 岡山ドーム

11/5日 10:00~15:00
岡山ドーム・北長瀬未来ふれあい総合公園



H31年のブースの様子
愛育委員は、伝承遊び「お手玉遊び」のブースを設けます。色とりどりのお手玉で、親子のみならずと楽しい時間を過ごしたいと思っています。愛育委員が作った「お手玉2個」のプレゼントもあります。

ちびっこのみなさんあそびにきてくださいな!
おひとつおとして おどろ

「お手玉の歌」

富山学区

富山学区は操山山系の南に位置し、多くの古墳もあり学区全体が歴史と自然の宝庫といえます。毎年7月には、愛育委員の中の防災士による防災についての研修を開催しており、風水書や地震への知識を深めたり、災害への備えについて話し合ったりしています。今年度は自身の家庭環境なら何を備蓄すればよいかを各自考えました。その他にも、自分自身や家族・地域全体の健康について学んでいます。



西大寺学区

「はだかまつり」で有名な西大寺学区。年に1回、各団体が協力し小学校で「はだかまつり」が行われます。昨年は「肺がんモデル」を使い、実際に見たり触ったりしてもらった事で、肺がんの恐ろしさに気付いてもらう事ができました。クイズ形式で肺がんの説明をする、どの年齢の方々に分かったりやすかったり様々です。今後も健康の大切さを伝えていきたいと思っています。



芳明学区

2人に1人が、がんにかかると言われています。これを受け、活動は「がん検診受診の啓発活動」を主体に行っています。地域や他団体とのイベントで、啓発用のティッシュや風船を配布し広く検診を呼び掛けたり、「四者交流会」や「幼稚園訪問」では、お母さんたちに「マンモグラフィ」を使って乳がん体験をしてもらっています。この地道な活動を、これからも愛育委員一丸となって続けていきたいと思っています。

※乳がん検診モデル

